



ルールについて考える 2

昨年度の「希望が丘」第22号は、「ルールについて考える」と題して書きました。その一部を再度掲載します。

<以下、昨年度第22号より>

集団生活には、秩序が必要です。みんなが安心して、安全に生活するために、不可欠なものです。そのために、集団生活にはルールがあります。スポーツにルールがあるのと同じです。ルールがあるからこそ、秩序が保たれ、安心・安全な集団生活ができるのです。ルールのない社会を想像してください。秩序は乱れ、好き勝手なことをする人が出てきます。物を奪い合い、暴力が生まれます。力による上下関係が生まれます。そうすると、秩序を乱す人を力で制圧することを望む人々が出てきます。それって・・・？

私たちは、「ルールを守る」ということを、幼い頃から教わってきました。「ルールは守るべきものだ」ということも、知っています。ルールは、ルールである以上、全員が従わなければなりません。それは、スポーツも社会も学校も同じです。正直に言いますが、私は車を運転していて、「どうして、こんなに見通しが良くてまっすぐな広い道の制限速度が、時速40kmなんだろう。」と思ったことがあります。もしかすると、保護者の皆さんの中にも、同じような経験がある方がいらっしゃるかもしれません。だからといって、その道を「自分は大丈夫」と思って時速50kmや60kmで走ることは認められません。仮に警察がいたら、スピード違反で捕まります。現に、このような過信でルールを守らない人のせいで、毎日のように交通事故が起きています。ルールに対する評価は、人によって違います。「気に入らない」というルールもあるかもしれません。しかし、それを理由に守らないことを許していたら、ルールはルールでなくなります。先の、スピード違反と同じです。

ただ、「どうして？」と思うことも、あるかもしれません。そのときは、みんなで知恵を出し合い、話し合い、納得いく形で、新しいルールを作ればいいんです。(後略)

繰り返しますが、ルールは、守らなければなりません。ただし、見直しが必要なものは、見直すべきだと思っています。これまでも、生徒の皆さんの意見を聞きながら、「黒タイツ・黒ソックスの使用」や「更衣期間」等の見直しをしてきました。現在も、生徒会役員の皆さんを中心に、一部の校則見直しについて、考えてくれています。全校生一人一人が、自分のこととして考えてください。

ところで、夏に、3年生に協力してもらって、アンケートを取りました。その中で、

あなたが校則を見直すとしたら、どのようなことを大切に考えますか。

という問いに対する回答(択一式)は、多い順に次のようになりました。

- 1 全校生にとって必要なものかどうかを考える。(28.4%)
- 2 これからの後輩のこと考える。(21.1%)
- 3 社会的な常識にあっているかどうかを考える。(16.4%)

この他、「見直しの内容や理由をきちんと話し合う。」「高校入試でどう思われるかを考える。」「自分にとっての快適さを考える。」などの意見もありました。あなたはどのように考えますか？

新しい制服の導入が、来年度から始まります。皆さんにも意見を聞いて、最初のルールができました。そのルールが、何年後かには皆さんの後輩が見直してくれるかもしれません。その繰り返して、ルールは進化していくのだと思います。これからも、皆さんの意見を聞かせてください。

確認

先日の放送でお知らせしましたし、すでに地域の方はご存じだと思いますが、山本町大野地区にある「祇園橋」が、10月11日から12月23日まで全面車両通行止めになります。この間、一時的に通行できる期間があるそうですが、それ以外は、昼夜を問わず、車道は通れません。普段利用している人は、「ひだらい橋」「西光寺橋」を利用するか、祇園橋の歩道を、自転車を押して利用してください。